

洋書輸入協会会報

VOL. 6
NO. 11

(通巻67号) 昭和47年11月

理事会報告

10月11日(水)

- (一) 日本ウェスタン・パブリッシング株式会社の賛助会員としての入会申込審議。……承認。
- (二) 関西支部作製雑誌カタログの広告については、自社分について広告料を支払うことにより挿入されることとなった。
- (三) 9月分収支計算予算対比表の検討。とくに問題点なく承認。

10月26日(木)

- (一) 海員ストの件。
米国の西海岸とハワイの海員ストライキが10月25日より始まった。詳細不明。
- (二) オービス社の大阪支社長大竹氏の御父君逝去。弔電を打つこととする。
- (三) 洋書まつり結果報告。(洋書交換委員会日賀村山氏より。)
- (四) Air Cargo 問題討議。
- (五) その他情報交換。

通関委員会報告

昭和47年9月1日より実施された輸入貿易管理令の一部改正に伴い1,000米ドル（308千円相当額）以下の Book 通関手続きが東京税関東京外郵出張所にて、特に実情を斟酌され簡素化の措置がとられました。詳細については既に J B I A No. 171 でお知らせしましたが更に徹底を期して次の通り Book 通関の手続変更についての説明会を開催致しました。

日 時：昭和47年10月17日 午後2時—午後4時30分

場 所：日本出版クラブ会議室

出席者：東京税関東京外郵出張所 渋谷一雄審査官

〃 〃 田中清毅担当官

洋書輸入協会会員 78名

当日は御多用の処渋谷審査官並びに田中担当官が出席されて指導に当られ、また各社の通関実務担当のかたがた多数参加され、現行 Book 通関制度及び今回実施された 1,000 米ドル相当額以下の Book 通関手続きの簡素化に対する理解を深めました。

お蔭様で今回の説明会が有意義で且つ盛況裡に終ることが出来たことを感謝致します。

尚9月1日以前の通関手続上必要とする書類及び簡素化実施後の必要とする書類を図式で表示しますと下記の通りとなります。

通関手続を確実に行われる様お願いします。

改 正 前			改 正 後		
通関申告金額			¥ 308,000以上		
必要書類			(I/Lを取得したもの)		
¥73,000以上 ¥73,000以下			¥73,000以上 ¥73,000以下		
I / L	○	○	○		
輸 入 報 告 書	○	○	○	○	
イ ン ボ イ ス	○	○	○		
誓 約 書	○	○	○		
	(必要に応じ)	(必要に応じ)	(必要に応じ)		
貿易統計報告書	○		○	○	

註 ○印は必要とする提出書類

I / L を取得せぬ小額貨物については月毎に、国別、品目別にまとめて1件とする。 以上

古 書 雑 感

法政大学図書館長 平 井 豊

上居光知氏の「シェイクスピア」（研究社英米文学評伝叢書・昭和10年刊）は、こんにちなお色あせない名著であるが、巻末の、精選された研究書目のなかの数点が、高価、稀覯であって、一般研究者の近づき難いことから、それらについて、特に東北大学図書館所蔵と明記していただける配慮に、わたしは、つねづね敬意を抱いてきた。

R. ドズレエが編輯し、のちに W. C. ハズリットが改訂した（1874—6）「イギリス古劇選」は、この数点の稀覯書のひとつである。戦後何年かたって、わたしは、神田のOさんのお店でこの選集を見た。入口のたたきに、むしろか、新聞紙を敷いて並べてあった。活字と用紙からみて、これは1744年の初版であったかもしれない。冊数も初版の12冊が揃っていたかどうか覚えていないが、Oさんのお話では、防空壕にはいていたとかで、水をかぶったらしく、紙もぶよぶよなのがあり、何冊かは装幀がくずれていた。古い芝居には見境のないわたしも、さすがに手がでなかった。

1958年の春、わたしは、ストラットフォードのシェイクスピア・インスティテュートでしばらくお世話になった。所長は、「イギリス演劇」その他の著

者として、わが国にも知られているA・ニコル氏であった。ここは、バーミンガム大学の、十五・六世紀文学を専攻する学生の大学院にもなっていた。この図書室には、内外の演劇雑誌のほか、学生やフェローたちの当座の用をみたす程度の、辞書、作品、研究書くらいしか置いてなかったが、その中に、ハズリットが改訂して、いわゆる第4版15冊が含まれていた。濃緑背金のしっかりした本であるが、かなり読まれたとみえて、数冊は表紙もとれかかっていた。演劇史でその名を知っているに過ぎない作品を、この選集で読むことは、この町ただひとつの劇場（一昨年と今春来朝したR S Cの本拠）に通うこととともに、この町滞在中の大きな楽しみであった。

この図書室で、不思議に思ったのは、所長であるニコル氏が編輯されたC・ターナーの作品集が見当たらないことであった。これは750部の限定版であるが、わたしは302番と書きこまれたものを、Oさんのところで求めている。ニコル氏にきいたところ、捜しているのだがまだ見つからない、あなたはそれをあなたのために買ったのか、大学のライブラリのために買ったのか、とたずねられた。

わたしの渡英の目的は、芝居を見る ことであつた。しかし、この町の劇場は、その年のだしものとして、シェイクスピアを五つ予定しているだけであつた。同じものを繰り返して見るには便利であつたが、わたしは、この機会に、いろいろな芝居を見ておきたかったので、ニコル氏の諒解をえて、八月中旬ロンドンに移った。

ロンドンに移るについては、ほかにもうひとつわけがあつた。ストラットフォード滞在中、芝居を見になんとかロンドンへでたが、その度に、わたしは古本屋を歩いた。そして、短い滞在期間に本を捜すには、ロンドンに限る、と考えたからである。

十月の下旬、わたしは、レスタ・スクウェア近くの古本屋にはいった。買物をすませてから、わたしは主人にドズレエをきいてみた。まさかと思いながらきいたのだが、主人が、ある、という。見たいか、というので、ぜひ、と答えると、100メートルほど離れた町角の地下室に連れていかれた。

地下室は、縦横15メートルくらいの広さであつたが、僅かに通路を残すだけで、書棚でうずまっていた。主人がひとつの書棚のガラス戸を開けてくれたとき、わたしは思わず息をのんだ。美しいドズレエをまのあたり見たからだけではない。二十数年かけて、こつこつ集めてきたエリザベス朝の作家が、目じろおしに並んでいるのである。なかでも、H. H. ウッドが編輯したマーストンが3巻揃っているのに、わたしは狂喜した。マーストンは、わたしには幻の書であつた。わたしは、その第一巻をオックスフォードのバジル・ブラックウェル書店で手にいれ、エジンバラへ行ったとき、出版元のオリバー・

アンド・ボイドで二巻と三巻をきいてみたが、すでに絶版になっており、その店でロンドンの同名の店でたずねるようにいわれ、そしてそこでも絶版の宣告をうけていたのである。

わたしは、囊中の乏しさも忘れ、とりあえず、ドズレエとマーストンを日本へ送ってもらうことにしたが、主人は、昔は丸善さんと取引をしていた、詩人のホジスンが友人であり、劇作家のピネロウもよく遊びにきた、と話していた。

十一月の末、芝居を見にストラットフォードへ行ったとき、わたしはニコル氏を訪ねた。ドズレエを手にいれた話をすると、氏は喜んでくれて、わたしも広告をだして捜しているのだが、まだ見つからない、といい、装幀はもとのままか、本は汚れていないか、ページにナイフがはいっているか、と関心を示され、この選集でなければ読めない作品がはいっていて、いまでも貴重なものだといひ添えられた。そして、このときも、あなたはそれをあなた自身のために求めたのか、それとも大学のために買ったのか、とたずねられた。ターナーのときといい、こんどの質問といい、氏の言葉の中に、わたしは東西の研究者に共通の思いを見た。

上居氏が東北大学図書館所蔵と明記された数点のなかには、わたしが帰国してからリフrintされたものもある。ドズレエもそのひとつである。しかし、それらはいずれも高価で、若い学徒には依然として高嶺の花である。資料の独占、隠蔽がいまも続いているこの国の学界で、37年前の上居氏の配慮は、いまでもさわやかに生き、そして光っている。

WILHELM GOLDMANN VERLAG

西ドイツの文庫本といえば誰しも装丁、内容とも古典的で堅実なレクラムを代表として挙げるが、いわばアメリカ風の大衆的なペーパーバックで現在最大の出版点数と売上げの規模を誇っているのが、このゴルトマン社である。

ヴィルヘルム・ゴルトマンが、シュトゥットガルトの書籍販売店で2年間の経験を積んだ後、25才の若さで資金もバックもなしにライフチヒに出版社を創立したのは1922年であった。従って今年はちょうど創立50周年に当る。文字通り一代で今日の大を築いたわけである。

第二次大戦前の23年間は苦難にみちたものであったが、独自の出版様式を見出し、それを頑固に守り通して、ライフチヒに大社屋を建てるまでの成功を収めた。しかしそれも1943年12月4日の爆撃で灰燼に帰した。しかも、ゴルトマン自身もソ連軍に捕えられ、ミュールベルクとブッヘンヴァルトの強制収容所で5年間を送らねばならなかった。

彼が釈放されたのは1950年1月16日であった。この日から彼の出版社再建の未曾有の成功物語りが始まる。再出発ははじめなものであったが、ゴルトマンの名はすでに知られていたし、彼の働きぶりはすさまじく、彼の着想は時宜に適していた。ゴルドマンは決して前衛的な出版社でなく、その業績は文学史に載るようなものではないし、その出版物が文芸誌の書評欄にとり上げられることもない。

ゴルトマンは販売の天才であり、セールスと組織作りの天才であった。駅の売店や街頭のスタンドが競ってゴルトマンの新刊書を並べるようになった。特に親迎されたのが、1952年創刊の推理小説の文庫 Goldmann-Taschen-Krimis とその1年後に創刊された普遍的な文庫本 Goldmans Gelbe Taschenbücher であった。ドイツ国内ばかりでなく彼は世界中を駆けめぐり、シチリアからコスタ・ブラバ、スケベニンゲンからアテネまで要するにドイツの観光客が訪れそうなところならどこでもその文庫本を置いた。それらは、多くはその町での唯一のドイツ語の本であり、他のドイツの出版物の進出の先駆けともなり開拓者ともなった。

次には世界文学の古典の全集や選集に手を伸ばし、ゲーテの22巻もの、バルザックの61巻、モーハッサン¹の20巻など次々にポケットブックで刊行した。特にすぐれた着想として賞讃されるのが法律書のポケット版シリーズである。当初誰もが成功を予想しなかったが、現在ではすでに85巻を数え、他の模倣するところとなっている。

1970年9月には“Das wissenschaftliche Taschenbuch”という名で、あらゆる学術分野の最新の情報を盛る科学書のシリーズを始め、年々100点を出すという勢いである。

文庫本の可能性を極端なまで追求してきたゴルトマンは、現在、文庫本の出版点数3000点を超え、ドイツ語圏で最大の文庫本出版社として、ミュンヘンに10,000平方メートルの社屋を構えている。

海外 ニュース

「CCMが社名を変更か」

Crowell Collier and Macmillan, Inc. は、社名を Macmillan, Inc. に変更するための特別株主会議を来る11月29日に開催することにし、その予備申請書類を10月13日に S.E.C. に提出した。

この新社名が採択されれば、1973年1月1日から変更になる。また CCM 社の米国内の主要系列会社も Macmillan Publishing Company, Inc. という名称になる。

この多国籍複合企業体の会長 Raymond C. Hegel 氏によれば、名称変更の理由は、Macmillan だけの方が覚えやすいばかりでなく、現在の事業内容に一致しているからである。現在の社名は、何年も前に廃刊となった大衆雑誌の名前に由来しており、これに1965年から Macmillan の名が加わったものである。

現在同社は本や百科事典ばかりでなく、楽譜、版画、地図を出版しており、特殊なレファレンス・サービスも行っている。情報サービス専門の子会社に CCM Information Corportion があり、教育情報の検索や、コンピュータによりレファレンス・ガイドや科学技術用語集などを出している。

The Macmillan Company は、Crowell Collier に吸収合併された当時より数倍も売上げは伸びており現在六つの独立した編集ユニットにわかれ、The Macmillan, The Free Press, Crowell-Collier Press, Collier Books, Teachers Publishing, CCM Threshold Learning の名で出版している。

また、イギリス、カナダ、オーストラリアで Collier-Macmillan の名で出版しており、さらに Cassell's, Baillière Tindall, Geoffrey Chapman, Studio Vista の英国会社を傘下に収めている。(英国の Macmillan 社とはここ20年来何らの関係もない。) (Publishers Weekly 1972年10月23日号より)

「ハンブルクのジラルデ社解散」

1888年創立という古い歴史をもち、Das Parlament, Wirtschafts-Correspondent などの雑誌の版元として知られるハンブルクの出版社 Girardet & Co. が1972年末をもって解散することになった。

その理由は明らかにされていないが、二つの大き

な印刷契約の欠損によるものとされている。すでに同社の Wirtschafts-Correspondent 誌は、今年始めに他社に売られている。

(Börsenblatt 西独版、9月19日号より)

——紀伊国屋書店提供——

ニュース

- 米国 Oceana Publications, Inc. の Vice-President, Mr. David R. Cohen 10月上旬来日。
- 米国 J. B. Lippencott Co. の President Mr. J. W. Lippencott, Jr. 10月下旬来日。
- 仏国 la Société des Periodiques Larouss の Président, M. J. F. Croizet 及び la Librairie Larouss の Directeur des Services "Etranger" M. F. Trebinjac 来日。10月26日に朝日新聞社 8 F アラスカにてレセプションが行われた。
- 米国マグロウヒル社と株式会社好学社は、両社出資のもとに「株式会社マグロウヒル好学社」を設立、披露のためのレセプションが10月30日、東京会館にて開催された。
- 協会第4回フランクフルト書籍展視察団(団長東光堂書店石内茂吉氏)は9月14日発、今回ははじめてアメリカを旅程にいれ、10月4日帰国した。
- 株式会社雄松堂書店創立40周年記念パーティーが10月5日東京プリンス・ホテルにおいて盛大にひらかれた。
- さきほど離日した Librarian of the British Council in Japan, R. D. Cornish 氏の後任として Tom Maughan 氏が着任し、10月16日 British Council において同氏の着任披露パーティーがひらかれた。
- George Allen & Unwin Ltd. の Marketing Director, Abrian Stephenson 氏10月中旬来日。
- Hachette International の Gerard Hamon 氏 11月上旬来日。

新入会員のお知らせ

今回下記のかたが賛助会員として入会されましたので、お手許の会員名簿にご記入願います。

日本ウエスタン・パブリッシング(株)

代表者 芦田 郁氏

〒101 東京都千代田区岩本町2-6-2 大和ビル

☎ (03) 861-8981・4, 851-2287

通 関 統 計

外国貿易概況（大蔵省関税局編、日本関税協会発行）1972年7月号所載。

書籍、新聞、雑誌の輸入額。

昭和47年7月	\$6,304,000	1月以降累計	\$34,262,000
昭和46年7月	\$2,115,000	〃	\$12,311,000

（註）昭和47年1月より、郵便物による通関分を含むようになったため前年比が急激に上昇している。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店の案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

（株）国際書房 ☎ 292-4951
Vlg. d. Buchhändler-Vereinigung/Vlg. Dokumentation
Verzeichnis lieferbarer Bücher 1972/73.

（German Books in Print）

2. Ausgabe. 2 Bde. 1972. ¥23,000

（株）南江堂 ☎ 811-7234

Butterworths, London

Principles of Chest X-Ray Diagnosis, 3rd ed.

by G. Simon 1971 (12月入荷予定) ¥8,240

William Heinemann Medical Publishers, London

Liver Disease

by A. Paton 1970 (1973年1月入荷予定) ¥1,540

三洋出版貿易(株) ☎ 669-3761

CRC Press, U. S. A.

CRC Atlas of Spectral Data and Physical

Constants of Organic Compounds.

ed. by J. G. Grasselli & Z. Rappoport

1972(Winter) ¥36,000

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262-5278

総代理店業務開始 G. K. Hall & Co. 米国

〃 The Gregg Press 米国

〃 Brown Reprints 米国

〃 Howard Fertig, Inc. 米国

〃 Visual Publications Ltd. 英国

Pergamon Press

Comprehensive Inorganic Chemistry

Editorial Board:

J. C. Bailar Sir Ronald Nyholm

H. J. Emeleus A. F. Trotman-Dickenson

Approx. 6,000 pages in 5 volumes; 24.5×16.8 cm

The set £150.

(Single volume £35.)

（全5巻は1973年6月に同時出版される予定）

代表業務停止:

Biblo and Tannen, Inc. (米国)

Thomas Y. Crowell Co. (米国)

F. W. Cheshire Publishing Pty. Ltd. (オーストラリア)

Studio Vista Publishers (英国)

会 員 の 横 顔

教 文 館

渡 辺 幸 典



本年9月の会報に元
教文館支配人殖栗さん
の、戦中戦後の思い出
が載っているが、その
中に、終戦と共に倉庫
に山積していた古い洋
書が、羽根が生えたよ

うに売れだした、という話がある。丁度その頃、まだ
17・8才だった渡辺さんは教文館に入社したばかり。
初めて与えられた仕事が生人の担当で、当時銀座教会
の一階にあった倉庫から店までリヤカーに本を積んで
日に何回となく運んだという。その頃から27年の歳月
を経たものの、今も渡辺さんの風貌には、本が好きで
仕様が文学青年的なところと、汗を流しながらリ
ヤカーを曳いた働く者の意地とが一つになっているよ
うに思われる。

特別な社員教育というものは受けた覚えがないが、
教文館の90年の伝統と、店に来るお客さん達によって
自分が育てられたように思う、と語られる。たしかに
他社とは異なる顧客層を持つ同社のことだから、知識を
吸収しようという意欲のある人にとってはこれ以上の
勉強の場はないわけである。

趣味も専ら本に関係のある古書展めぐりとか古本屋
覗きとのこと。それというのも教会の役員をしている
ため日曜は殆どひまなしで、何かやりたくても手が出
せません、と苦笑される。この点土曜は休みで、日曜
の朝は盛装して教会に行き、午後は庭の芝刈りか家族
連れのピクニック・ドライブなどというハリウッド映
画とは大違いで、日本の基督教界というものは渡辺さ
んのような努力家の献身によって支えられているもの
なのである。

協会では会報委のメンバーの一人、まじめな原稿を
揃えてくることでは定評がある。こう書いてくるとい
かにも石部金吉のような印象を与えるかもしれないが
飲む方も好きで、早大第二文学部の卒業であるから、
早稲田の同窓の飲む会にも時には顔を出されるそうで
ある。（自宅：練馬区羽沢2-21）

— 病理学書の決定版 —

PATHOLOGY (in 2 vols.)

edited by W.A.D.Anderson

6th ed. 1971. 1862pp. 1566fig.

ケース付 ¥6,500.

参考書としてお求めやすい定価であり、又学生の教科書としてもご利用いただける洋書としてお勧めします。

— 神経解剖学入門の最短コース —

FUNCTIONAL NEUROANATOMY

by N.B.Everrett

6th ed. 1971. 357pp.

¥2,500.

南江堂洋書部 本店 東京都文京区本郷3丁目42・振替口座東京 149・電話(811)7234(代表)
支店 京都市中京区寺町通御池南・振替口座京都5050・電話(221)7841(代表)

昭和47年11月 通巻第67号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371-5329